

令和2年度第2回 図書館協議会議事録

1 日 時

令和2年11月17日（火） 午後3時00分～4時00分

2 場 所

ラトブ4階 いわき総合図書館 学習室

3 出席者

(1) 委員

委員長 草野 チエ子

副委員長 小野 順一

委 員 窪木 富士美、藁谷 晴美、柳田 明美、草野 裕香利、有賀 史人
藤谷 美由紀、松井 ルミ

欠席者 豊田 浩

(2) 事務局

ア いわき総合図書館 館長、吉田副館長、大浦副館長、主任主査
情報資料係長、村木主査、酒井主査、大桃

イ 地区図書館 小名浜図書館長、勿来図書館長、常磐図書館長、内郷図書館長、
四倉図書館長

4 開 会

事務局

(委員10名中9名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第4条第1項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。)

5 いわき総合図書館長あいさつ 館長

6 委員長あいさつ 草野（チ）委員長

7 議事 【議長：草野（チ）委員長】

(1) 第四期子どもの読書活動推進計画（素案）について

事務局より、資料1、資料2に基づいて説明した。

事務局

資料2、第四期計画の概要について、概要版を使って説明する。

1 計画の性格は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づき策定するもので、本市における子供の読書活動推進活動計画に関する基本方針や目標を示し、それに向けて講じるべき施策の方向性を示している。また、子どもたちが読書の楽しさを実感し、生涯にわたって望ましい読書週間が身につくよう、家庭や学校、地域がそれぞれ果たすべき役割を明確にし、その活動を推進するために必要な取り組みを体系的に示している。

2 期間と対象について、期間は令和3年から令和7年度、対象はおおむね18歳以下のすべての子どもとした。

3本市における子供の読書活動の現状については、1か月の平均読書冊数と不読率のグラフを掲載した。まず、本市の小学生の1か月の平均読書冊数は10.2冊であり、これは国や県と比較すると1冊少ない。また中学生の結果は2.6冊で、こちらは県と並んでいるが、国と比べると2冊以上少ない。以上のことから、第三期計画が終期を迎えるが、子どもの平均読書冊数に大きな変化はないことがうかがえる。続いて、不読率について説明する。不読率は、1か月の読書冊数が0冊と回答した割合となっている。令和元年度における本市小学生の不読率は、前年度調査と比較すると若干増加傾向にある。同じく本市中学生、高校生の不読率も、前年度調査と比較して増加傾向にある。また、本市の特徴として、高校生女子よりも高校生男子の不読率のほうが高いことがわかる。以上のことから、第三期計画が終期を迎えるが、本市の不読率の上昇に歯止めがかかっていないことがうかがえる。

続いて4第四期計画の基本的な考え方について説明する。第四期では、第三期で推進してきた、家庭、地域、学校等における読書活動を引き続き推進する。また、学年や学校種間の接続期において子どもが読書から遠ざかる傾向にあることから、発達段階に応じた読書活動の推進を強化する。さらに、新型コロナウイルス感染症や情報環境の変化等、今日の社会状況を踏まえた取り組みを推進する。スローガンとして、「読書が開く 未来へのとびら 新たな世界～生き抜く力を読書から～」を掲げている。

5第四期計画の特色としては、3点を挙げている。一つ目として、新たに数値目標を設定した。これにより、計画の進捗状況を的確に把握していく。二つ目として、発達段階に応じた読書活動の推進の強化を挙げた。これは今回新たに基本目標のひとつとして位置付けたもので、子どもの発達段階を五つに分けた。①乳幼児期、②小学校低学年(小学1～3年生)、③小学校高学年(小学4～6年生)、④中学校期、⑤高校期に分け、切れ目のない読書活動を推進する。三つ目、社会情勢の変化に対応として、新型コロナウイルス感染拡大や、障害、不登校など読書活動に支援を必要とする子どもたちへの読書活動の推進方法についても検討していく。

6第四期計画の構成について説明する。第四期計画では四つの目標を挙げている。基本目標1「子どもの発達段階に応じた読書活動の推進」、基本目標2「子どもが読書活動に親しむ機会の充実」、基本目標3「子ども読書のための環境の整備」、基本目標4「子どもの読書活動についての理解の促進」として、基本目標2～4は、第三期からの引継ぎとなっている。

第四期の特色が基本目標1であり、13の事業を位置付けている。この中から新規の事業として紹介するのが、「読書活動推進モデル事業」、「小・中学校でのビブリオバトル」、これまでティーンズ世代への支援が薄かったことから「高校図書委員等のおすすめ本の展示」等を計画している。また、第三期で実施していたこども司書育成事業を、第四期ではさらに発展させ、初級・中級に分けて実施したいと考えている。初級は小学4年生向けの入門講座、中級は小学5・6年生向けのステップアップした講座とし、内容で差別化を図る。

基本目標2は、推進の方策を5つ挙げている。新規の事業では「チャレンジホームへの読書支援等」として、市内4か所ある不登校児童の受け入れ施設への本の貸し出しなどを計画している。

基本目標3は、方策を3つ挙げた。新規事業としては、コロナウイルス感染の影響もあり、今後はYouTubeでの図書館事業の動画配信、電子書籍導入に向けた調査研究等を進めていきたいと考えている。

基本目標4は、方策を2つ挙げた。子どもの読書活動への理解の促進を図る。

第四期計画の説明は以上である。

(質疑応答)

委員

小学1～3年生を下学年、小学4～6年生を上学年と表現するのはどうか。現場では低中高、または上下という使い分けをしているので、こちらのほうがわかりやすいのではないか。

事務局

学校教育課に確認し、検討する。

(2) いただいた意見等とその考え方について

事務局より、資料3に基づいて説明した。

(第四期計画についての意見)

委員

読書が好きなこと、新聞を読むことが学力と相関関係にあるということで、コロナ禍の中図書館でもいろいろな努力、工夫をしながら読書をする機会を常に提唱していたことに感服した。

委員

大変すばらしい計画だと思う。先日学校司書の研修で、読書をすることは脳科学的にもよいことが実証されたと聞いた。現在2つの学校で司書をしているが、幼稚園から本を読んでいる子は小学校ですでに読書習慣がついているので、中学でも継続して読んでいる。同じ絵本からスタートしても、読書習慣のついている子はどんどんレベルアップしていく。学校側でも読書を推進していただきたい。

委員

十分な資料をいただきました。ありがとうございました。

委員

本屋をしているが、コロナの影響で本が求められていることがよくわかる。外に出られない現状から、ぜひデジタル化を進めていただければと思う。また、地域で本を読める場を考えたときに、書店や地域の文庫、喫茶店など、そういったところと連携していく事業があればいいなと思っている。

委員

今のいわきの子どもの読書に関わる現状がとてもよく分析されていて、第四期ではさらに充実していると感じた。子どもの発達段階に関わる計画が挙げられていたが、読書がどんどん実施されていくような今後でありたいと思う。

委員

とても内容が分かりやすく、忙しいお母さんたちも少し手を止めて読んでくれるのではないかと思った。また、「学校、家庭、地域の一体化」というところが一番心に残った。「一体化」が、子どもたちが小さいうちから本を読む環境を育てるのではないかと感じる。「子ども読書の日などを活用した取り組みの実施」とあったが、ぜひ子どもたち一人一人が、楽しいな、毎年待ち遠しいな、と思えるような内容のものがあつたらいいなと思っている。

委員

本当にきめ細かい計画が策定されたと感じた。これまで以上に子どもの読書を推進していくぞという意気込みが感じられた。高校の現場にいるが、本当に高校生の不読率が高い。これをどのようにしていくか考えたときに、計画を見ると「切れ目のない読書活動を推進していく」とある。図書館は本と人をつなぐ場であると思うし、司書は本と人をつなぐためにいると考えているが、どこが切れ目になっているか、子どもたち一人一人を見て考えていく必要があると、自戒を込めて感じた。

委員

第一期から今回まで計画策定に携わってきたが、毎回バージョンアップされていると感じる。図書館で市全体のことを考えることは大変だと思うが、本当に素晴らしい取り組みだと思う。一番読書のことを深く考えている皆さんが中心になって作られるから、こんな素敵な計画になったんだと感じた。25年前、読書教育で文部科学大臣賞を学校全体で頂いた時の推進リーダーだったが、その時見に行った図書館では、先生が将来お父さん・お母さんになる子どもたちに絵本を進めていた。そうすると子供たちが図書館に通うようになる。そういった実態を見て、小学校でも子どもたちが来たくするような図書館づくりを始めた。その頃は学校司書がいなかったが、少しずつ増えていき、やっとここまで来た。一人一人に、いわき市の子どもたちのための環境づくりに尽力いただいたと思っている。これからも一步一步、一人一人が子どもたちの読書のこと、健やかな育成のことを考えていけば、きっと扉は開かれるのではないかと思う。学校のほうでも頑張りたい。

委員

子どもたちが本を読んだ環境や習慣が大事で、家庭・学校・地域・図書館の連携が欠かせないと思います。また今回、第四期子ども読書活動推進計画において、コロナの項目が増えましたが、今後はいつまで続くかわからないコロナと一緒に歩んでいかなければならないが、子どもたちのためにプラス思考で進んでいきたいと思う。

～議事終了～

8 その他

委員

HPで図書館の所蔵検索をした時、表紙の画像が出てくるものと出てこないものがあるのはなぜか。また、本の予約をしようとしたときに「長期資料貸出中のため予約できません」と表示されるものがあるが、延滞のため戻ってきていない資料ということか。

事務局

HPの書影は、グーグルブックスの画像を使用している。そのため、グーグルブックスに書影のないものは出てこない。

長期資料貸出中の資料は、お察しの通り、長期延滞のために動かすことができない資料である。そういった資料については、定期的に督促を行い、紛失などがあった場合は弁償してもらっている。

委員

一度返却した本を、別のカードを使ってその場で貸し出しすることはできないか。

事務局

次の利用者がある可能性があるので、2、3日置いてから再度借りていただくよう、ご協力をお願いします。

9 閉会 事務局